

給与所得者異動届出書の記載方法

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書 特別徴収

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。

市区町村長殿		所在地		〒		年度		1. 現年度		2. 新年度		3. 前年度	
令和 年 月 日提出		フリガナ		氏名又は名称		特別徴収義務者 指定番号		宛名番号		担連 当給 者先		所属 氏名 電話	
フリガナ		(ア) 特別徴収税額 (年税額)		(イ) 徴収済額		(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)		異動 年 月 日		異動の事由		異動後の未徴収 税額の徴収方法	
フリガナ		円		円		円		年 月 日		1. 退職 2. 転職 3. 休職 4. 死亡 5. 支払少額 6. 支合 7. その他 (事由・理由)		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)	
氏名		年 月 日		月 月 月 月		月 月 月 月		年 月 日		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)			
個人番号		円		円		円		年 月 日		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)			
受給者番号		円		円		円		年 月 日		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)			
1月1日 現在の住所		円		円		円		年 月 日		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)			
異動後の 住所		円		円		円		年 月 日		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)			
1. 特別徴収継続の場合		特別徴収義務者 指定番号		新規 法人番号		新しい勤務先へは、月割額 円を 月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。		受給者番号		1. 必要 2. 不要			
2. 一括徴収の場合		所在地		フリガナ		氏名又は名称		担当 者連絡先		氏名 電話		内線()	
理由		1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため		徴収予定月日		徴収予定額 (上記(ウ)と同額)		左記の一括徴収した税額は、 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。		円			
理由		2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため		月 日		円							
理由		3. 死亡による退職であるため		月 日		円							
3. 普通徴収の場合		1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため		月 日		円							
理由		2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため		月 日		円							
理由		3. 死亡による退職であるため		月 日		円							

御注意
4 3 2 1
「宛名番号」の欄には、黒のボールペン又はペンで記載してください。
「給与の支払を受けなくなくなった」等の理由で、新しい勤務先において特別徴収の継続を希望する場合は、「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄に必要事項を記載してください。
「一括徴収する場合」は、「一括徴収すること」が義務づけられています。

特別徴収税額通知書に記載の「指定番号」(9桁)と「宛名番号」(4桁)を記入してください。

「7.その他」を選択した場合は、具体的に理由を記入してください。
(例) 住所誤報
給与支払報告書に記載した従業員の住所が誤っていた。

新しい勤務先で、税額通知書に受給者番号の記載を希望する場合は、記入してください。

使用している事業所のみ記入してください。(任意)

特別徴収税額通知書に記載の「住所」を記入してください。

給与の支払いを受けなくなった日後の住所(住所誤報の場合は正しい住所)を記入してください。

新しい勤務先に文京区の「指定番号」(9桁)がある場合は、記入してください。